

「ワーカホリックの国」韓国も羨む「バカンス大国」フランス …それでも過労死が存在する不思議



「過労死防止学会」が行った国際シンポジウム。日本、韓国、フランスの研究者が過労死問題について意見交換を行い、それぞれの“お国柄”が際立つ知見が報告された＝5月21日、大阪府吹田市の関西大（小野木康雄撮影）

「ワーカホリック（仕事中毒）の国」として知られる韓国だけでなく、「バカンス大国」のフランスでさえ過労死問題に悩まされている。日本の「過労死防止学会」が5月に行った初の本格的な国際シンポジウムで、こんな不思議な実態が報告された。フランスでは労働時間の上限が週35時間と定められているが、これがかえって労働者の精神状態に悪影響を及ぼし、過労自殺を引き起こしているのだという。いったいどういう現象なのか。

フランス人が1時間でできる仕事を…

国際シンポジウムは5月21日、大阪府吹田市の関西大で開かれた。テーマは「過重労働による健康障害と労働時間規制」。日本、韓国、フランスの研究者が報告と意見交換を行い、約100人が来場した。

フランスの過労死問題について報告したのは、国立社会科学高等研究院のセバスチャン・ルシュバリエ教授（経済学）。「フランス人はあまり仕事をしないと思われているが、実はそうではない」と切り出した。

ルシュバリエ氏が指摘したのは、労働時間の長さではなく、密度の濃さだ。

労働者が効率良く働いているかどうかを示す「労働生産性」は、就業1時間当たりの国内総生産（GDP）で計ることができる。経済協力開発機構（OECD）の2014年のデータによると、日本の41・3ドルに対し、フランスは65・1ドルと格段に高い。

ちなみに日本より長時間労働の国とされる韓国は31・9ドルで、フランスの半分以下。単純に読み解けば、フランス人が1時間かかる仕事を日本人は1時間半、韓国人は2時間以上かけてこなしていることになる。

フランス人は効率良く働くことで、週35時間制による時短が可能になり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現している。ルシュバリエ氏は、そうした側面を否定はしない。

ところが、話はそう単純ではなかった。

2年間で35件の自殺があった企業

「週35時間制には問題が2つある」と、ルシュバリエ氏は解説した。

1つ目は、労働時間の概念。「どんな時間も生産的に過ごさねばならない」「調整時間やサービスの質を上げるための時間は、必要ない」という考え方が広まっていることだ。

もう1つが「作業再編」。効率を上げるためとして、経営側が労働者に強いストレスをかけて管理したり、仕事を増やして効率を上げさせようとしたりすることを指す。

この結果、自動車大手ルノーでは06～07年にかけてエンジニアの自殺者が相次ぎ、フランステレコムでは08～09年に35件の自殺があったと労働組合が指摘しているというのだ。

中間管理職は、週末の休日やバカンスで行楽地に出かける際にも、パソコンや携帯端末を持参して仕事をするのがもはや当たり前。ルシュバリエ氏は「たとえ労働時間を削減しても、過労死問題がすべて解決するわけではない」と断言した。

過労死の原因が必ずしも長時間労働だけではないことを、フランスの例は示したといえる。労働時間の削減や生産性の向上が叫ばれている日本にとっても、一考する価値はあるだろう。

韓国からは、グリーン病院労働環境健康研究所の任祥赫（イム・サンヒョク）所長が報告した。

OECDの統計では、2014年の労働者1人当たりの年間労働時間は、韓国2124時間、日本1729時間、フランス1473時間となっている。韓国が国際的にも「ワーカホリックの国」と位置づけられるゆえんだ。

任氏は、韓国ではタクシー運転手や警備員の過労死が目立つとした上で「長時間労働に加え、交代勤務が過労死の主要な原因になっている」と指摘した。

事業主には、労働者の疲労やストレスを減らす環境を作り、労働条件を改善

する義務が法律で定められている。ただし、罰則がないため、事業主は守らないのだという。

加えて任氏は、日本の労働基準監督署に当たる機関が労働時間について監督しておらず、業種によっては無制限に長時間労働を認めているという実態を明らかにした。

「韓国社会は規範意識が低く、制度が守られない傾向にある。労働組合や市民団体が力を持って、労働時間を削減させることが望ましい」。任氏はそう語った。

フランスとはまさに両極端といえる課題だが、日本にとっても身につまされる話だ。

日本の労働基準法には罰則があるとはいえ、監督官は慢性的に人手不足であり、労使が合意して届け出さえすれば「過労死ライン」の月80時間を超える残業も可能とされている。

今回のシンポジウムが示した知見をどう生かすか、日本も真摯（しんし）に向き合うべきだろう。